

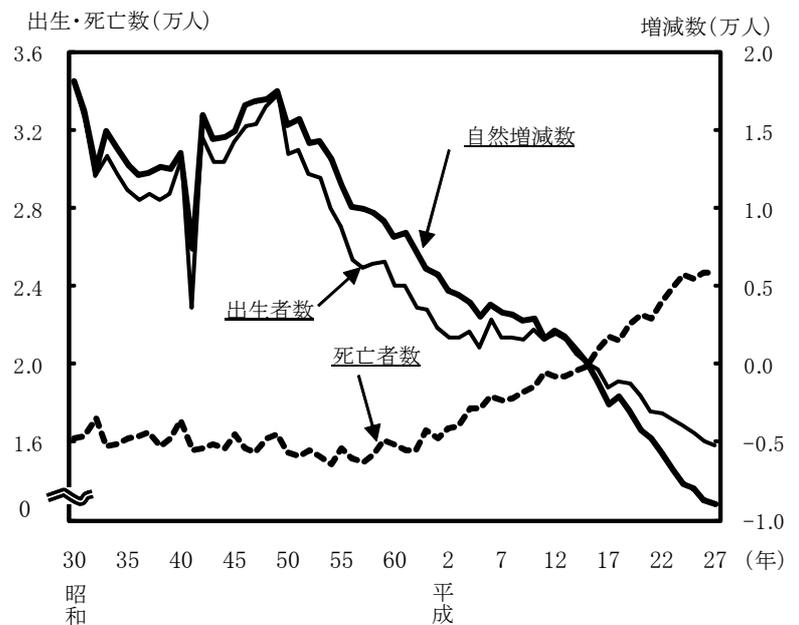
3 自然動態

自然増減数 Δ 8,927人 前年比 Δ 214人

平成 27 年中の自然動態をみると、出生者数が 15,822 人で、前年に比べ 188 人減少し、死亡者数は 24,749 人で、前年に比べ 26 人増加しています。

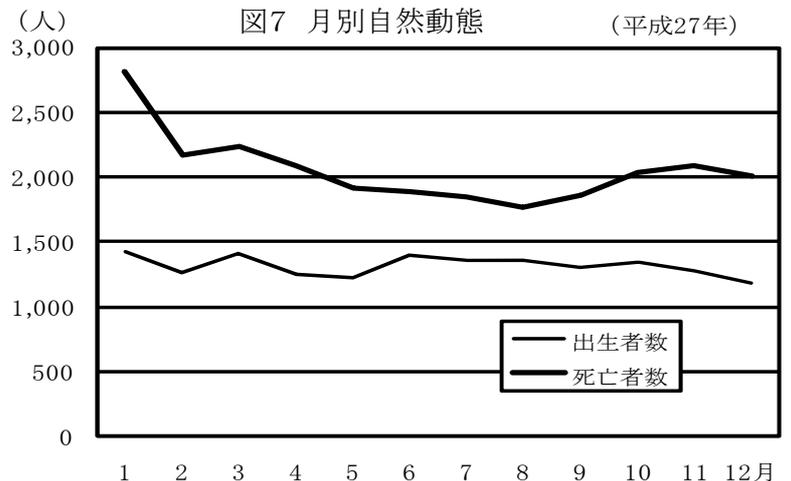
昭和 30 年以降の自然動態の推移をみると、昭和 41 年のひのえうまの大きな減少を除き、増減が繰り返されたものの、昭和 49 年まで増加傾向となっていました。しかし、それ以後急速に減少傾向となり、平成 16 年を境に死亡者数が出生者数を上回る自然減となっています。(図6、5ページ 表2)

図6 自然動態の推移



出生者数を上回る死亡者数

平成 27 年の各月の自然動態をみると、死亡者数が、各月とも出生者数を上回っています。(図7)



自然増加 4村 自然減少 73市町村

自然動態を市町村別にみると、4村が自然増加、73市町村で自然減少となっています。

自然増減率が最も高いのは、南箕輪村の 0.30%で、以下 山形村 0.08%、川上村 0.05%、宮田村 0.01%の順となっています。

一方、最も低いのは、栄村の Δ 2.66%で、以下 天龍村 Δ 2.60%、麻績村 Δ 2.47%の順となっています。(6ページ 表3)